刈谷市ホームタウンパートナー事業の取り組みについて

１　本制度の目的

刈谷市をホームタウンとして全国又は世界で活躍するスポーツチームを刈谷市ホームタウンパートナーとして認定することにより、スポーツの推進及び刈谷市のイメージアップを図り、もって本市におけるスポーツの活性化を目指す。

※刈谷市ホームタウンパートナー制度要綱第１条抜粋

２　認定チーム（認定期間：２年間）

１３チーム（※別紙リーフレット参照）

３　例年の取組み実績

チーム　→　市	チーム　←→　市	市　→　チーム
・大会開催時の市のPR ・スポーツ教室動画の作成 ・市制施行70周年記念大会開催 ・地域貢献活動の実施	・ホームタウンパートナー連絡会の開催（年３回） ・刈谷キラキラ教室の開催と観戦招待の実施 ・地域貢献活動の充実（拡充）	・ホームゲームの施設優先予約や体育施設利用券の発行 ・ホームページ・市民だより等による啓発活動 ・市内体育施設・オアシス館刈谷、刈谷駅等でポスターや横断幕による啓発活動 ・各種イベントでの啓発活動

※下線部が令和２年度の新規または拡充の取組み

４　刈谷キラキラ教室について（するスポーツ、みるスポーツ）

（１）刈谷キラキラ教室とは

スポーツの競技技術の向上と、一流選手との触れ合いを通じて夢を持って努力することの大切さを学ぶことを目的として、ホームタウンパートナーチームと協働し、各チームの社会貢献活動の一環として平成２７年度から市内小中学生（主に部活動部員）を対象として実施しているスポーツ教室のこと。（実技指導、選手・スタッフとの質疑応答や交流など）

（２）令和元年度　開催実績

チーム	競技	参加者数
ﾃﾞﾝｿｰｱｲﾘｽ・ﾄﾖﾀ紡織ｻﾝｼｬｲﾝﾗﾋﾞｯﾂ	バスケットボール	中学生　　４６人
トヨタ車体クインシーズ	バレーボール	中学生　　７２人
シーホース三河	バスケットボール	中学生　　３６人
トヨタ車体ブレイヴキングス	ハンドボール	小学生　　１６人
ジェイテクト STINGS	バレーボール	中学生　　８５人
合計		２５５人

（３）令和元年度　観戦機会の提供について　（令和元年度　９試合　計３８１人）

開催した教室の競技について、各チームやリーグの状況を見ながら、市内小中学校部活動部員を中心に、本人（無料）や家族(無料または割引価格)のトップリーグ観戦招待を実施することで、子どもたちによりチームを身近に感じてもらえるような取組みとして企画している。

（４）令和２年度　スポーツ教室動画の作成について

例年開催する刈谷キラキラ教室（５で説明）が中止になったため、各チームに協力を依頼し、市内小中学生向けにスポーツ教室動画を作成した。

（５）令和３年度　刈谷キラキラ教室の拡充について（学校訪問型）

従来のスポーツ教室に加え、講演会や座学（授業）の実施、行事・給食参加などに活動内容を拡充することで、各学校のニーズによりあった内容かつより多くの子どもたちと触れ合う機会を提供することが可能となる。

これを制度化することで、ホームタウンパートナー制度がより地域に根付くことが期待され、子どもたちが優れたスポーツ文化に触れる機会を継続して創出することができる。

○過去の開催風景

５　新型コロナウイルス感染症流行下の取組みについて

（１）他課と協働した地域貢献活動の実施

例年より多岐に渡る内容の地域貢献活動を企画・実施した。(公園内や施設の清掃、他課主催イベント参加、交通児童遊園手伝い、商店街連盟と連携した弁当配布　など)

令和３年度以降も継続を目指す。